

令和5年1月 鳥取県中小企業団体中央会情報連絡員報告

価格転嫁進むも消費マインド低下に懸念

非製造業を中心に大雪の影響による減収の動き散見

～景況DI値は、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス18.4～

* DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 1月鳥取県内の中小企業景況

売上(受注)高 製造業では、DI値前月比21.1ポイント低下のマイナス31.5、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス26.3。非製造業では、前月比26.4ポイント低下のマイナス36.9、前年同月比31.6ポイント上昇のプラス36.9。

販売(受注)価格 製造業では、DI値前月比5.3ポイント低下のプラス21.0、前年同月比15.9ポイント低下のプラス31.5。非製造業では、DI値前月比15.7ポイント低下のプラス10.6、前年同月比10.5ポイント上昇のプラス52.6。

収益状況 製造業では、DI値前月比5.3ポイント低下のマイナス31.6、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス57.9。非製造業では、前月比26.2ポイント低下のマイナス31.5、前年同月比26.4ポイント上昇のプラス21.1。

資金繰り 製造業では、DI値前月比0.1ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス15.8。非製造業では、前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比10.6ポイント上昇のプラス5.3。

雇用人員 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス10.5。非製造業では、前月比10.5ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス10.6。

景況 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス31.6。非製造業では、前月比31.5ポイント低下のマイナス31.5、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス5.2。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比21.0ポイント低下のマイナス34.2、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス18.4となった。製造業では、ほとんどの業種で経費増の価格転嫁が進むも、依然として原材料価格の高止まりや電気代などエネルギーコストの増加は継続し、企業活動に大きな負担となっている。また一部業種では価格転嫁が受注減少に影響しており、厳しい状況が続いている。非製造業では、降雪のない新年を迎えて好調に滑り出すも、1月中旬以降は人流が活発となる土日を中心に大雪に見舞われ、小売関連、観光関連を中心に減収の動きが散見された。県内景況は、製造業、非製造業を問わず電気料金を中心とする物価高騰の高止まりが継続し、景気後退に歯止めが掛からない状態が続いている。物価の上昇が進む一方で消費マインドの低下に伴う需要減も懸念されており、加えて人材確保のための賃上げ対応等さらなる経費増要因もあり、依然として先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

1月の全国倒産は、件数546件で、前年同月を13.3%上回り、9カ月連続で前年同月比増加となった。負債総額は507億6,900万円（負債総額1,000万円以上）で、前年同月を7.8%下回り、1990年1月以来33年ぶりの500億円台となった。不況型倒産の構成比は79.8%（対前年同月12.4ポイント増）を占めた。

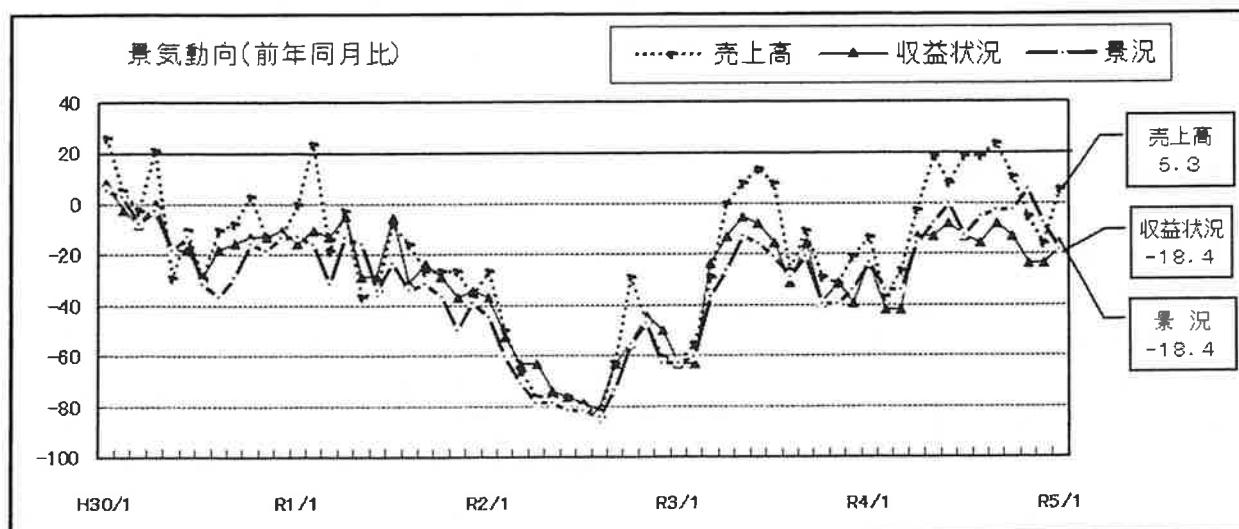
一方、1月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数0件（前月1件）、負債総額は0円（前月5,000万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報12月分」）

鳥取県の12月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.52倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.35倍）で、前月より0.01ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数值）では、鳥取所1.50倍、米子所1.80倍、倉吉所2.01倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.90倍（季節調整値）で、前月より0.29ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比7.2%増加し、有効求人数は8.6%増加となった。産業別に前年同月で比較すると、公務・その他（51.3%）、製造業（22.5%）、サービス業（12.6%）、卸売業・小売業（11.5%）、宿泊業・飲食サービス業（7.9%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比8.6%減少、有効求職者数は前年同月比2.7%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数值）は1.61倍で、前年同月を0.18ポイント上回った。新規求人数は前年同月を7.6%上回った。



1月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売上高	5.3%	36.8%	-31.5 -21.0	10.5%	47.4%	-36.9 -26.4	7.9%	42.1%	-34.2 -23.7
(2) 在庫数量	10.5%	5.3%	5.2 15.7	16.7%	8.3%	8.4 0.1	12.9%	6.5%	6.4 9.6
(3) 販売価格	26.3%	5.3%	21.0 -5.3	21.1%	10.5%	10.6 -15.7	23.7%	7.9%	15.8 -10.5
(4) 取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	0.0%	5.3%	-5.3 0.0
(5) 収益状況	10.5%	42.1%	-31.6 -5.3	5.3%	36.8%	-31.5 -26.2	7.9%	39.5%	-31.6 -15.8
(6) 資金繰り	5.3%	10.5%	-5.2 0.1	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	2.6%	13.2%	-10.6 -0.1
(7) 設備操業度	10.5%	15.8%	-5.3 15.8						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 -10.5	0.0%	15.8%	-15.8 -10.5	0.0%	13.2%	-13.2 -10.6
(9) 景況	0.0%	36.8%	-36.8 -10.5	5.3%	36.8%	-31.5 -31.5	2.6%	36.8%	-34.2 -21.0

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売上高	15.8%	42.1%	-26.3 10.5	47.4%	10.5%	36.9 31.6	31.6%	26.3%	5.3 21.1
(2) 在庫数量	15.8%	5.3%	10.5 5.2	25.0%	8.3%	16.7 8.4	19.4%	6.5%	12.9 6.4
(3) 販売価格	36.8%	5.3%	31.5 -15.9	52.6%	0.0%	52.6 10.5	44.7%	2.6%	42.1 -2.6
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	2.6%	7.9%	-5.3 0.0
(5) 収益状況	0.0%	57.9%	-57.9 -15.8	31.6%	10.5%	21.1 26.4	15.8%	34.2%	-18.4 5.3
(6) 資金繰り	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	15.8%	10.5%	5.3 10.6	10.5%	15.8%	-5.3 2.6
(7) 設備操業度	15.8%	31.6%	-15.8 0.0						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 -15.8	10.5%	21.1%	-10.6 5.2	5.3%	15.8%	-10.5 -5.2
(9) 景況	10.5%	42.1%	-31.6 -10.5	21.1%	26.3%	-5.2 -10.5	15.8%	34.2%	-18.4 -10.5

*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料費（卵、粉類等）、エネルギー（LPガス、電気等）価格の上昇、高止まりにより収益が圧迫されている。製品の値上げを試みるも、売上が伴わない厳しい状況が続いている。

醤油⇒ 製品の値上げと消費者の節約志向が重なり、回復基調にあった出荷量が一時的に減少した。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 為替の影響により、国内需要は高止まりの状態が続いているが、販売価格がコストの上昇に追いついていないために収益性は低下している。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 学生服、ユニフォームは生産工場がなく納期に追われている。一般衣料品については受注、生産状況は低調に推移している。原材料のコスト、人件費、電気代等に対する価格転嫁は難しく、厳しい景況が続いている。

【家具装備品】

⇒ 売上高は前月比で不変、前年同月比で減少となった。物価高の影響が続いているおり、業況は依然として厳しい。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量、製成品の生産量はともに前月比で減少。合板の生産量も前月比で減少した。積雪の影響により丸太の出材量は少なく、高値で取引されている。製材価格は落ち着いているものの引き合いは低調。プレカット加工の稼働率は、前月比30%増加、前年同月比10%減少となった。

【紙・加工品】

和紙⇒ 年末の繁忙期が過ぎ、年明けから生産の動きも落ち着きを見せている。原材料費等の高騰の影響を受け、12月に今年度2度目となる値上げを実施した。

【印刷】

⇒ 官公庁からの年度末受注は例年並みに近づきつつある。受注増を受け、稼働率が上昇したもの、休日出勤や残業も散見される。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 1月の生コン出荷量は、前月比で40%減少、前年同月比も17%減少となった。年末年始の休業により前月比が減少した。積雪の影響により工事が中断したため、出荷量も減少した。年末や年度末の駆け込み需要も少なく、全体的に引き合いは低調。セメント価格の値上げ、燃料費高騰が収益を圧迫しており、生コン価格への転嫁に苦慮している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件は少ないが、県外物件を受注できている事業所は

多忙となっている。見積の案件はあるものの、鋼材等資材価格の上昇によりキャンセルや延期の物件も見受けられる。機械加工は、工作機械、弱電関係での受注が増えつつある。自動車関係は依然減産が続いているが、緩やかながらに回復基調にある。人手不足が深刻化している上、最低賃金上昇による人件費増に加え、光熱費等高騰の影響により収益を圧迫している。

鉄骨加工⇒ 物件量はあるものの、ゼネコンの契約金額が資材高騰以上のレベルになっておらず、専門業者への発注金額が低いため利益が確保できない厳しい状況が続いている。また、売上を確保したい工場は安価での受注を続けており、単価下落の流れを作っている。

金属熱処理⇒ 受注状況は一段と悪化の傾向にあり、厳しい状況が続いている。エネルギーや資材の高騰による経費の上昇は、大きな負担となっている。4月にはさらなる電力料金の値上げが控えており、今後の経営状況に大きく影響することが懸念される。

【電気機械器具】

⇒ 受注は徐々に回復傾向にあるものの、依然として材料確保の問題が継続している。人員不足のため残業が発生している上に、部材状況に左右され計画が安定しない。必要経費の高騰で利益確保は厳しい状況にあり、価格転嫁をすべてに行うことは困難。コロナの影響は緩和されつつある。

非 製 造 業

【卸 売 業】

東部 地 区⇒ 青果関係では、例年開場日が少ないこともあり、前月比では売上高、取扱数量ともに大きく減少した。前年同月比では1月下旬の雪等の影響により売上高、取扱数量とも減少した。鮮魚関係では、親ガニの漁期が終了したことにより、前月比では売上高、取扱数量とも大きく減少した。前年同月比では単価が上昇していることにより、売上高は増加したが、下旬の荒天の影響により取扱数量は減少している。価格転嫁が進み、物価上昇の影響が出始めている。大雪により物流停滞の影響を受けた。

中 部 地 区⇒ リモートワークをきっかけに業務の効率化やコスト削減はもとより、デジタイゼーション（アナログの情報をデジタル化してデータを蓄積させる環境整備）への関心が高まりつつある。前年同月比で売上は増加したが、業況は厳しい。

西 部 地 区⇒ 一部で半導体不足の状況が続いている、電化製品、PC等の物流への影響が懸念される。また、ウッドショック、円安等による原材料高騰の影響が見受けられる。新型コロナウイルス蔓延による売上回復の減速に加え、10月、11月からの食料品、消耗品等の値上げにより今後の消費全般への影響が懸念される。

水 产 物⇒ 巻き網は上旬にツバスの水揚、中旬に小型サバの大漁入船もあり水揚げ量は昨年と比べ大きく増加した。鮮魚向きのサバは少量であったものの、昨年秋から続く国内サバの不漁のため、缶詰、加工用として浜高で推移した。下旬には雪を伴う時化とサバのTAC（漁獲規制枠）の問題から若干の停滞となった。近海の松葉ガニは昨年よりも高値で推移した。紅ズワイガニは、操業船も増え安定的な水揚げとなり単価的には落ち着いてきたものの、依然松

葉ガニの代用として「姿売り」の注文も続き、浜値高傾向が続いた。
リサイクル原料⇒ 価格動向については前月比で横ばい、前年同月比で上昇となった。景況等については、前月比、前年同月比ともに大きな動きはなく横ばいの状況。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取の商店街では、商店街の個店は仕入れ価格の上昇を価格転嫁せざるを得ない状況にあり、物価高騰による消費マインドが低下している。商店街エリアで取り組んでいる鳥取県安心対策エリア版割増クーポン食事券事業が継続しており、飲食店舗には一定の集客効果がみられているが、事業終了後の来客の急激な落ち込みが懸念される。年末年始は雪も少なく好調であったが、中旬以降に降った雪の影響が大きく、週末ごとの大雪で前半からの調子を維持できなかった。引き続き食品、生活用品、電気、水道、燃料の値上げラッシュが続き、一段と消費意欲が減退している。小売業は、ボーナスの反応も微弱で、まだまだ消費は戻らず、厳しい状況が続いている。宿泊関係は全日旅行支援などの効果で、賑わいを見せてている。

中部地区⇒ 倉吉の商店街では、雪のない正月を迎えたものの、イベントが行えず新型コロナの影響により人流も少なかった。売上増加に向けたプレミアム付き食事券などの需要喚起策が求められる。倉吉出身力士の落合が初場所で幕下全勝優勝を果たしたこと、商店街に活気を与える明るいニュースとなった。

西部地区⇒ 米子の商店街では、1月は特にイベントの開催はなかったが、2月には米子商工会議所と協力し、商店街の通りと一部の協力店舗でイルミネーションの設置を予定。商店街全体の魅力向上につなげる実証実験として「イルミネーションコンテスト」を2月中旬～2月末に実施を予定している。

境港市の水産物小売では、例年年明け後は閑散期となる時期である。特に今年の1月はまとまった積雪の影響で交通機関が麻痺し、例年と比較しても売上は低調に終わった。全国旅行支援の効果、インバウンドの再開が期待される。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、年明けは天候に恵まれ、入込数が前年より大幅に増加し、上旬まで増加傾向で推移した。中旬以降は降雪等の悪天候により、観光客の入込数は極端に減少し、電気料金等の高騰の影響から休業する店舗が見られた。売上高は前月比で減少、前年同月比では増加となった。

米子市のホテル・旅館では、土日を中心に降雪の影響を受け、入込客数が大幅に減少した。前年比で宿泊・日帰りが減少したため、売上高は減少、収益状況も悪化した。前年同月比は全国旅行支援が復活したこともあり売上高は増加、収益状況も好転した。業界全体では入込客数は回復しつつあるも、原材料費の高騰、仕入れコストの大幅上昇により収益を圧迫しており、非常に厳しい状況が続いている。

三朝温泉では、全国旅行支援が再開したものの、割引率の変更があったためか11月、12月のような集客には至らなかった。中旬以降の降雪の影響によりキャンセルが多く見受けられた。

羽合温泉では、全国旅行支援の効果が見られず予約が伸び悩んだ。1月中旬以降大雪の影響により宿泊客数は前年比で減少した。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を合わせて2,052台で前月比が8%増加、前年同月比は21%増加となった。中古車は396台で前月比が18%減少、前年同月比も14%減少となった。継続検査（軽自動車を含む）は12,721台で前月比が7%減少、前年同月比は約1%の増加であった。新車・中古車に関しては先が読めない状況であり、継続検査は引き続き横ばいの状態である。

【建設業】

⇒ 12月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額38億円（前年同月比8%減）、件数78件（前年同月比40.9%減）となった。年度累計（令和4年4月～12月）は、請負金額619億円（前年同月比24%減）、件数1,346件（前年同月比6%減）となった。県関係工事などが押し下げ、前年比マイナスが続く。設備投資は、単月、3か月平均ともに前年比マイナスが続き、住宅建設も単月で前年比プラスとなるも、3か月平均はマイナスとなった。公共工事の受注減や技術者等の人材不足、建設資材価格の高騰により競争が激化し、採算は悪化している。建設資材の調達難から公共工事進捗に遅れが生じている。

12月の鳥取県新設住宅着工戸数は184戸（持家147戸、貸家37戸）で、前月比33%減少、前年同月比6%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 1月の物流は、製造業の生産調整が継続しており出荷量の減少と稼働日の減少から荷動きは低調に推移した。復路荷物も減少傾向が続き空車運行もあり効率の悪い状況もみられた。売上は前月比、前年同月比とともに減少したほか、燃料価格の高値が継続収益に影響し厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 燃料価格については高止まり状態が継続しており、依然厳しい状況が続いている。また、中旬の降雪に伴い、一部運送業者への燃料供給、配送に支障をきたした。受注状況は前年同月比横ばいで推移した。一方で、慢性的な人員不足等業界を取り巻く問題は山積しており、早急な対応が求められる状況となっている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靭化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・共同受電事業の特別高圧は国の特別措置から除外されているので早急に見直しを求める。【一般機器製造業】
- ・電力費の負担に対する十分な補助を求める。【金属熱処理業】
- ・エネルギー高騰や人材確保、外国人材確保のための住居等対策を求める【電子部品製造業】
- ・地域振興券は飲食と小売・サービスを分けずに全体で消費が上がるようにしてほしい。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】
- ・物価高騰、人件費の上昇、価格転嫁等業況に応じた支援施策の検討。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年	前年との 増減幅
売上高	製造業	-10.5	5.3	26.3	-36.8	-21.0	0.0	10.5	-21.0	21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-31.5	-21.0	
	非製造業	-63.1	-31.6	52.6	10.6	21.1	10.5	0.0	0.0	-5.3	15.7	26.3	-10.5	-36.9	26.2	
	全業種	-36.8	-13.2	39.4	-13.2	-5.2	5.3	5.2	-10.5	7.9	2.6	5.3	-10.5	-34.2	2.6	
在庫数量	製造業	15.8	5.2	10.3	0.0	10.5	15.8	21.1	5.2	5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.2	-10.6	
	非製造業	16.7	-8.3	25.0	-8.3	8.4	8.4	0.0	-8.3	-8.4	8.4	8.4	8.3	8.4	-8.3	
	全業種	16.1	0.0	16.2	-3.2	9.7	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0	-3.2	-3.2	6.4	-9.7	
販売価格	製造業	-15.8	10.5	15.8	15.8	26.3	15.8	26.3	26.3	21.1	21.1	26.3	26.3	21.0	36.8	
	非製造業	10.5	-10.5	10.5	15.8	26.3	26.3	36.8	26.3	5.3	31.5	42.1	26.3	10.6	0.1	
	全業種	13.2	0.0	13.2	15.8	26.3	21.1	31.6	26.3	13.2	26.3	34.2	26.3	15.8	2.6	
取引条件	製造業	-5.3	-5.3	-5.3	-15.8	-15.8	-5.2	5.2	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	
	非製造業	-5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	0.0	-5.3	0.0	-5.3	0.0	
	全業種	-5.3	-7.9	-2.6	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-7.9	-5.3	-5.3	0.0	
収益状況	製造業	-21.0	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-26.3	-36.8	-26.3	-31.6	-10.6	
	非製造業	-63.2	-31.6	26.3	-5.3	-10.5	-15.7	-15.8	-5.2	-15.8	10.5	15.8	-5.3	-31.5	31.7	
	全業種	-42.1	-23.7	5.3	-23.7	-23.6	-15.8	-15.8	-15.8	-15.7	-7.9	-10.5	-15.8	-31.6	10.5	
資金繰り	製造業	-21.1	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.2	15.9	
	非製造業	-42.1	-31.5	-10.5	-5.3	5.3	-15.8	0.0	0.0	-21.1	10.5	15.8	-15.8	-15.8	26.3	
	全業種	-31.6	-23.7	-10.5	-7.9	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	-15.8	2.6	2.6	-10.5	-10.6	21.0	
設備稼働度	製造業	0.0	5.3	5.3	-15.8	-10.6	5.3	5.3	-10.6	0.0	-10.6	10.5	-21.1	-5.3	-5.3	
雇用人員	製造業	-10.5	-5.3	0.0	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.5	0.0	
	非製造業	-21.1	-15.8	5.2	15.8	21.1	0.0	0.0	15.8	-5.3	5.3	0.0	-5.3	-15.8	5.3	
	全業種	-15.8	-10.6	2.6	2.6	7.9	-2.7	-2.6	7.9	-2.6	-2.6	0.0	-2.6	-13.2	2.6	
景況	製造業	-15.8	-15.8	-21.0	-26.3	-21.0	-15.8	-10.5	-1.5	-26.3	-36.8	-31.5	-26.3	-36.8	-21.0	
	非製造業	-63.2	-52.6	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	5.2	-26.3	0.0	15.8	0.0	-31.5	31.7	
	全業種	-39.5	-34.2	-15.7	-21.1	-15.7	-15.8	-15.7	-2.6	-26.3	-18.4	-7.9	-13.2	-34.2	5.3	

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	前年との 増減幅
売上高	製造業	0.0	-21.0	-31.6	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	5.3	0.0	-5.3	-10.5	-36.8	-26.3	-26.3	
	非製造業	-26.3	-52.6	-21.1	26.3	57.9	26.3	31.6	31.5	47.4	26.4	0.0	5.3	36.9	63.2	
	全業種	-13.2	-36.8	-26.3	-2.6	18.4	7.9	18.4	18.4	23.6	10.5	-5.3	-15.8	5.3	18.5	
在庫数量	製造業	10.5	5.2	5.3	-5.3	5.2	15.8	10.6	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	
	非製造業	-8.3	-25.0	-8.4	16.7	33.3	25.0	16.7	25.0	-16.7	0.0	-16.7	8.3	16.7	25.0	
	全業種	3.2	-6.4	0.0	3.2	16.2	19.3	12.9	22.6	6.4	9.6	0.0	6.5	12.9	9.7	
販売価格	製造業	26.3	21.1	26.3	21.1	42.1	31.6	42.1	42.1	47.4	47.4	57.9	47.4	31.5	5.2	
	非製造業	21.0	10.6	21.0	31.6	26.3	36.8	42.1	42.1	36.9	36.8	10.5	42.1	52.6	31.6	
	全業種	23.7	15.8	23.7	26.3	34.2	34.2	42.1	42.1	42.1	42.1	34.2	44.7	42.1	18.4	
取引条件	製造業	-15.8	-15.8	-5.2	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	-5.2	-15.8	0.0	0.0	-5.2	10.6	
	非製造業	-10.5	-10.5	-5.3	5.3	-5.3	-5.3	5.3	-15.8	-5.3	5.3	-10.5	-10.5	-5.3	5.2	
	全業種	-13.2	-13.2	-5.3	-7.9	-13.2	-5.3	2.7	-7.9	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	7.9	
収益状況	製造業	-26.3	-31.5	-47.4	-42.1	-31.6	-21.0	-31.6	-36.8	-36.9	-47.3	-42.1	-42.1	-57.9	-31.6	
	非製造業	-21.1	-52.6	-36.9	15.7	5.3	5.3	5.3	5.3	21.0	21.0	-5.3	-5.3	21.1	42.2	
	全業種	-23.7	-42.1	-42.1	-13.2	-13.1	-7.9	-13.1	-15.8	-7.9	-13.1	-23.7	-23.7	-18.4	5.3	
資金繰り	製造業	-21.1	-21.1	-21.1	-15.8	-15.8	-10.5	-21.1	-10.5	-5.3	-26.3	-10.5	-10.5	-15.8	5.3	
	非製造業	-21.0	-31.5	-26.3	0.0	-5.3	10.6	-5.3	-10.5	10.6	15.8	5.3	-5.3	5.3	26.3	
	全業種	-21.0	-26.3	-23.7	-7.9	-10.5	0.0	-13.2	-10.5	2.6	-5.2	-2.7	-7.9	-5.3	15.7	
設備稼働度	製造業	5.3	-10.5	-21.0	-21.1	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	-21.1	
雇用人員	製造業	-15.8	-10.5	-5.2	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	-10.5	5.3	
	非製造業	-21.1	-21.1	-15.8	10.6	10.6	-5.3	-10.6	0.0	-5.3	0.0	-5.2	-15.8	-10.6	10.5	
	全業種	-18.4	-15.8	-10.6	0.0	2.6	-5.2	-7.9	-2.6	-5.3	-5.2	-2.6	-5.3	-10.5	7.9	
景況	製造業	-15.8	-31.6	-31.5	-21.0	-15.8	-10.5	-21.0	-15.8	-15.8	-21.0	-10.5	-21.1	-31.6	-15.8	
	非製造業	-31.6	-36.8	-36.9	-10.5	0.0	10.5	-5.3	5.3	10.5	15.8	21.1	5.3	-5.2	26.4	
	全業種	-23.6	-34.2	-34.2	-15.7	-7.9	0.0	-13.1	-5.2	-2.6	-27.0	5.3	-7.9	-18.4	5.2	

情報連絡員報告総括表(令和5年1月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

情報連絡員報告総括表(令和5年1月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上	在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
		増加	不变	減少	増加	不变	減少	上昇	不变	低下	好転	不变	悪化	好転	不变	悪化	好転	不变	低下	好転	不变	減少	好転	不变	悪化		
食料品	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	2	
繊維工業	0	1	2	2	1	0	1	2	0	1	2	0	0	1	2	1	0	1	2	0	2	1	1	2	0	2	
木材・木製品	0	1	3	0	3	1	2	2	0	0	3	1	0	2	2	0	4	0	0	2	2	0	4	0	0	2	
紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	2	
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	0	
化学コム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	
鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	
一般機器	1	1	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	1	2	
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	
輸送用機器																											
その他	19	3	8	8	3	15	1	7	11	1	16	2	0	8	11	1	14	4	3	10	6	0	17	2	2	9	8
	100%	15.8%	42.1%	15.8%	78.9%	5.3%	36.8%	57.9%	5.3%	5.3%	84.2%	10.5%	0.0%	42.1%	57.9%	5.3%	73.7%	21.1%	15.8%	52.6%	31.6%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	47.4%	42.1%
非製造業	3	3	0	1	4	1	5	1	0	0	6	0	1	5	0	0	6	0	0	6	0	1	5	0	1	4	1
小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
商店街	1	2	1	1	3	0	2	2	0	0	4	0	1	3	0	0	4	0	0	2	0	3	1	0	0	3	
サービス業	3	1	1	2	3	0	0	5	0	3	2	0	2	3	0	0	3	2	0	3	2	0	2	3	0	3	
建設業	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	
運輸業	1	1	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	2	
その他	19	9	8	2	3	7	1	10	9	0	18	1	6	11	2	3	14	2	2	13	4	4	10	5	5		
	100%	47.4%	42.1%	10.5%	25.0%	58.3%	8.3%	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%	31.6%	57.9%	10.5%	15.8%	73.7%	10.5%	10.5%	68.4%	21.1%	21.1%	52.6%	26.3%	26.3%	
	38	12	16	10	6	22	2	17	20	1	1	34	3	6	19	13	4	28	6	3	10	6	2	30	6	19	13
	100%	31.6%	42.1%	26.3%	19.4%	71.0%	6.5%	44.7%	52.6%	2.6%	7.9%	89.5%	50.0%	34.2%	10.5%	73.7%	15.8%	52.6%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	50.0%	34.2%	34.2%	

